

# ハクサイ



一年中出荷されているハクサイの旬は、お鍋がおいしくなる晩秋から冬にかけて。今では食卓になくってはならない野菜ですが、結球したハクサイが全国に広まったのは大正から昭和の初めと、まだ新しい野菜です。

**作型** 10月中旬～1月中旬頃まで計画的に収穫できるよう、早生と中晩生品種を組み合わせる。害虫は、初期防除を徹底する。結球開始期には、乾燥しないようにする。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
秋 植 え									○		■ ■ ■ ■		黄ごころ・金将・錦秋

○：種まき ■ ■ ■ ■：収穫

## 畑の準備・定植

<b>土づくり a当たり</b>	
堆肥	400kg
セルカ(有機石灰)	15kg
植え付け1ヶ月前に土とよく混合	
<b>元肥 a当たり</b>	
BMようりん	8kg
野菜専用肥料	10kg
醗酵鶏糞	30kg
畝立時施用	

- 2条千鳥植え：畝幅120～150cm
- 株間40～45cm(条間45cm)
- 種子は1ヶ所に3～4粒まき(重ならないように)薄く(5mm)覆土後、鎮圧する。
- 欠株の補植に、ポットなどで育苗しておくとうい。

## 間引き・追肥・土寄せ

- 本葉1～2枚時：間引いて2～3本立ちとする。
- 本葉5～6枚時：間引いて1本立ちとし、その後追肥(野菜専用肥料5～6kg/a)し、軽く土寄せを行う。
- 結球開始時：追肥する。(野菜専用肥料6～8kg/a)



## 防除

病害虫名	耕種防除	薬剤防除
コナガ アオムシ ヨトウムシ	幼虫の捕殺 防虫網を張る 早期に発見し、幼虫の分散前に捕殺する	トレボン乳剤 1,000～1,500倍 7日前まで 3回
べと病	通風をよくする 発病葉を取り除く	プロポーズ顆粒水溶剤 1,000倍 7日前まで 2回

## 寒さの防止

- 霜の被害を受けないように、結球が終わった頃、ビニールひもまたは、わらなどで外葉を包み込むように縛る。



わらやビニールひもで結束する。結束が早いと生育が悪い。おそいと凍害を受ける。

## 収穫

- 結球の頭を手で押さえて、葉に緩みがなく固くしまった感じであれば収穫。

# ダイコン

和食のイメージがあるダイコンですが、煮る、炒める、蒸す、生食など幅広く使える食材です。白いものが一般的ですが、種類や大きさ、形も様々なものがあり、カラフルなダイコンを作る人も増えています。



**作型** 秋まきは作りやすい。播種時期に合わせた品種を選ぶ。ダイコンは、十耕といわれるように畑を深く耕し、小石などを取り除き土を細かく砕くことが大切。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
秋まき											○	■	耐病総太り(青首)・冬どり大蔵(白首) YRくらま

○：種まき ■：収穫

## 畑の準備・定植

<b>土づくり aあたり</b>	
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	10kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
<b>元肥 aあたり</b>	
油粕	15kg
畝立時施用	

- 1条まき：畝幅 60cm 株間25~30cm
- 2条まき：畝幅120cm 株間25~30cm (条間30cm)
- 深さ1~2cmのまき穴に3~5粒点まきする。(重ならないように) 覆土後、軽く鎮圧する。

## 間引き・追肥・土寄せ



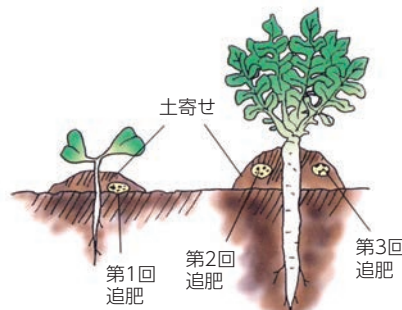
本葉1枚で3本立て



本葉3~4枚で2本立て(秋まきのみ)



本葉6~7枚



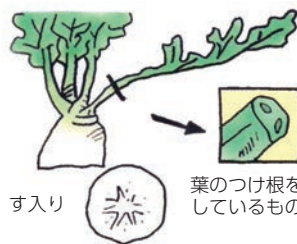
追肥は、間引き毎に野菜専用肥料4kg/aを株元に施し、土寄せする。

## 防除

病害虫名	耕種防除	薬剤防除
アオムシ コナガ	幼虫の捕殺を行う 防虫ネットで覆う	トレボン乳剤 1,000~2,000倍 21日前まで 3回
キスジノミハムシ	早まきを避ける	スタークル顆粒水溶剤 1,000倍 7日前まで 2回

## 収穫

- 播種から収穫まで70日~80日
- 取り遅れはす入りの原因となる。



す入りしにくい品種

- 耐病総太り
- YRくらま

葉のつけ根を切って見て、断面に、す入りしているものは根もす入りしている。

## 貯蔵

- 株元が隠れるくらい厚く土寄せしておく。
- 株元が隠れるよう、モミガラをかけておく。

